

松浦武四郎 in ウポポイ 2023同時開催

日本遺産「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程 普及啓発展示会

# メナシのアイヌとともに生きる

～加賀伝蔵、松浦武四郎、南摩綱紀～

日本遺産「鮭の聖地」の物語～根室海峡一万年の道程は、根室海峡沿岸一万年の歩みを伝える歴史文化ストーリーです。

このストーリーの中で重要な役割を担い、幕末の探検家松浦武四郎と深い交友関係にあった、アイヌ語通訳加賀伝蔵、会津藩士南摩綱紀とメナシ地方のアイヌたちとの関りについて、知っていただくための取り組みを、ウポポイ(民族共生象徴空間)を管理運営する公益財団法人アイヌ民族文化財団、松浦武四郎記念館を管理運営する三重県松阪市との共催で開催します。



期間 7月22日(土)～23日(日)

時間 9:00～17:00

会場 ウポポイ(民族共生象徴空間)  
エントランス棟

## 1. 普及啓発展示会 パネル・資料展示

アイヌと和人がともに臨む蝦夷地開拓を目指した松浦武四郎。松浦武四郎と深い交友を重ね、その想いを継いで根室海峡沿岸のメナシの地で実践した通辞加賀伝蔵と会津藩士南摩綱紀。

松浦武四郎、加賀伝蔵、南摩綱紀の3人が、メナシのアイヌたちとの共生を目指し、いかに向きあったのか。

幕末の蝦夷地で、メナシのアイヌとともに生きた人々をご紹介します。



加賀伝蔵

松浦武四郎

南摩綱紀

## 2. 日本遺産「鮭の聖地」の物語・ミニ講座

内容 アイヌ語通辞(通訳)加賀伝蔵物語

講師 別海町郷土資料館 学芸員 石渡 一人

羅臼町郷土資料館 学芸員 天方 博章

時間 ①9:50～10:20 ②14:50～15:20



共催

三重県松阪市 公益財団法人 アイヌ民族文化財団

日本遺産 鮭の聖地メナシネットワーク(北海道根室市・別海町・標津町・羅臼町)